

学会記事 Newsletter

学術会議 IUBS 研連

表記の研連と遺伝学研究連絡会が、昭和57年12月22日開催され、遺伝研連から「ヒト疾患遺伝子の作用機構」(仮題)を昭和58年度科研費特定研究課題の候補として提出することになった。その他、学術会議の改革問題、昭和58年度海外派遣などが討議された。(井上英二)

ERRATA

In the Table 1 of T. Nishigaki and K. Omoto's article (*Jpn. J. Human Genet.* 27, 341-348, 1982), "Hobart (1979) $PLG^{1'}$ $PLG^{2'}$ " should read "Hobart (1979) PLG^1 PLG^2 ."

The editor regrets the error.

投稿規定 (1976年6月改訂)

投稿者の資格 本会会員による投稿が優先されるが、会員外の共著者を含むことは差つかえない。
論文の種類 原著を主とする。他にとくに優れた総説、および人類遺伝学の研究に有用な資料を掲載

する。他の刊行物に掲載された論文は受付けない。

原稿の部数 2部

用語 十分に推敲された英語、ドイツ語、またはフランス語が望ましい。

本文の用紙 A4判、またはこれに最も近い大きさの厚手の用紙。

原稿の体裁 欧文の場合はタイプライターを用い、1行60字 (letters) 1頁25行まで (ダブルスペース) を標準とする。和文の場合は、400字詰原稿用紙を用い、平かな、新かなづかいによる。図表とその説明はすべて欧文とする。これに欧文の摘要を添える。

原稿の表紙 表紙にはタイトル、著者名、所属機関名とその所在地のみを欧文と和文で記載する。本文は第2ページから書きはじめる。

図表 1枚ずつ本文と同じ大きさの用紙を用い、挿入場所を本文に朱書する。

図と写真 写真は本文と同じ大きさの台紙に貼り、図とともに番号をつける。図で凸版印刷するものは、そのまま製版できるように黒インクを用い鮮明に書く。裏に刷り上り寸法を指定する。ただし、印刷のために、多少の変更を行うことがある。図と写真の説明は別の用紙にまとめて記載する。

文献 本文または図表に引用したものに限り、論文の末尾にまとめ、著者姓のアルファベット順に記載する。各文献はすべての著者の姓名、年度、表題、雑誌名 (World List of Medical Periodicals の略記を用いる。単行本の場合は書名、編集者名と発行所)、巻数、ページの順に記す。本文、図表中の引用は、Dahlberg (1950) または (Dahlberg, 1950) とし、番号は用いない。

例: Dahlberg, G. 1950. Methods for population genetics. *Am. J. Biol.* 25: 90-104.

論文の校閲と採否の決定 本会編集委員会が行う。編集委員会は、著者に原稿の訂正を求めることができる。上記の規定から著しくかけ離れた原稿は受付けないことがある。

校正 初校に限り著者校正とする。

印刷費および別刷 本会会員の場合は、印刷7ページ以内は無料とする。超過ページの印刷費、版下および凸版の作製費、複雑な表の組版代、特殊な印刷用紙代等は著者負担とする。別刷は50部までは学会が費用を負担し、それ以上は著者負担とする。会員外の場合は、印刷費、別刷代はすべて著者負担とする。ただし、依頼原稿については別に定める。

論文の送付 下記の編集委員長へ:

東京都文京区湯島 1-5-45 (〒113) 東京医科歯科大学難治疾患研究所細胞遺伝部門 外村 晶

事務連絡 校正、印刷等に関する事務連絡は下記の編集幹事へ:

東京都文京区湯島 1-5-45 (〒113) 東京医科歯科大学人類遺伝学研究室 笹月健彦

人類遺伝学雑誌 第28巻 第1号

昭和58年3月31日発行

発行人 笹月健彦

売捌人 池内達郎

発行所 東京都文京区湯島1丁目5番45号

東京医科歯科大学人類遺伝学研究室内

日本人類遺伝学会

(振替口座東京 7-68826)

文部省科学研究費補助金 (研究成果刊行費) の補助による